

九州電力株式会社 電子通信部

西田 真三

K I A I の新たな出発に向けて

内容

- × **K I A Iの夜明け**
- × **I C Tの今後の展望**
～I C Tは、社会インフラを支える社会インフラへ～

平成18年12月25日 大分市内某所

× 「九州JGNIIシンポジウムin大分」会場付近のお食事処

× KIAI発起人メンバーの会話

- + A：九州は、他地域と比べてICT関連の団体や会議体が、多く活動も活発ですよ。
- + B：そうそう、でも、会議は、別々だけど、参加いただいている委員の方は、同じだったり、、、
もっと、総合的な活動出来るといいんだけど。
- + A：宮崎の長友さんや佐賀の西村さん、大分の青木さんなど、地域のICT活動を引っ張って下さっている方々が、連携できる場があると、大きな力が生まれるんじゃないかなー？
- + B：「九州地域ネットワーク産学官連携センター」みたいなものがあるといいんじゃないかなー？
- + A：いいですねー！早速、やりましょうー！



- + A、B：じゃ、広岡さん、西田さん、なんか、さらっと、書いてみて

広岡さんどうでしょうか？

- ✖ **とりあえず、A I Mにいるメンバーで、どんな組織が、いいかディスカッションしてみよう。**

(第1回打合せ参加メンバー：他多くの方に、助言頂きました。)

- | | |
|---------------------------|-------------------|
| + ヒューマンメディア財団 | 広岡さん、松尾さん |
| + N I C T九州R C (K D D I研) | 北辻さん |
| + 九州工業大学 | 池永さん |
| + ネットワーク応用技術研究所 | 上野さん、中村さん |
| + 九州電力 | 毛利さん、田頭さん、日當さん、西田 |

- ✖ **平成19年1月～3月に計6回打合せ、計60時間に及ぶ議論**

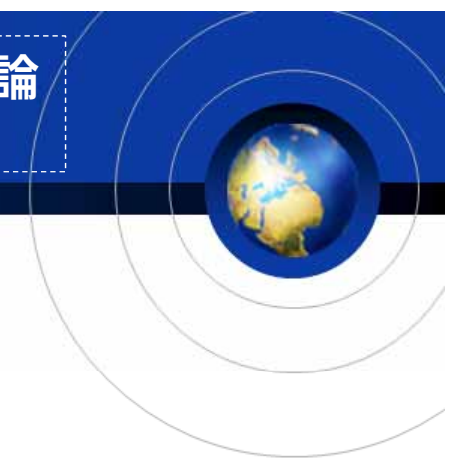
- | | | |
|-------|---------|-----------|
| + 昼の部 | 13時～19時 | @A I M会議室 |
| + 夜の部 | 19時～23時 | @小倉駅周辺 |

当時の議論のポイント

- × 以下の点について、昼夜を問わず、議論を尽くした。
- × 九州地域のICTを推進する**理想の組織**はどんなものか？
- × 既に各地域や各組織で活躍なさっている方々が、**連携しやすい場**とは、どんなものか？
- × **KIAIの役回り**は何か？
- × “**しゃんしゃん**”の会議体とならないためには？
- × 重厚長大、形式重視の**頭でっかちな会議体**にならないためには？

組織名称

名称は、特に時間をかけて議論
(6回の打合せ中3回議題)



名称 九州情報通信連携機構 (九州情報通信連携プロジェクト)

英語表記、略称

Kiai

Spirit-s

SST project

Kyushu Island Alliance of ICT

SPiral up by IT

Smart Kyushu with sense of togetherness project

• QAICT (ケイト)

• QAI47

• IA47

Kyushu Alliance Institute of Information and Communication Technology

Kyushu Alliance for Information and Communication Technology for 7 prefectures

ICT Alliance for 7 prefectures

• Cox

• KIAI

• i-One Kyushu

• Spirit-s t

Communication eXchange for kyushu island

Kyushu Island Alliance of ICT

SPiral up by IT

• Keepa

• K2A

• FATA

• FowardQ

• QUBE

• 7Brain

• 7bridge

• 7com

• 721

Keep Alliance or Actions(# 既存)

Keep Alliance and Actions

From Alliance to Actions

Forward 九州

九州ウルトラブレイン環境(機構): Cubeとかけて...(既存)

九州の7県のブレインという意味

7県の架け橋

7県のつながり: 3Comかあ?

九州の7県が一つにという意味

WANKワンク wisdom alliance network of Kyushyu

QWANクワン Kyushyu wisdom alliance network

KWANケーワン Kyushyu wisdom alliance network

当初は“けいあい”
と呼ぶはずだった。

尾家先生の助言

× 組織のミッションは、こんな感じじゃないかな？

・分野，立場，地域の垣根を越えた連携の推進
コミュニケーションの場および材料を提供
情報流通・情報共有を促進

・九州の総意たる一体感と力を形成
公平，広域，精力的な活動

・多様な知恵と力を集約

・新たな価値および力が創造

・九州のICT産業，研究開発の活性化

・九州地域の発展

まずは、ここから

議論の末

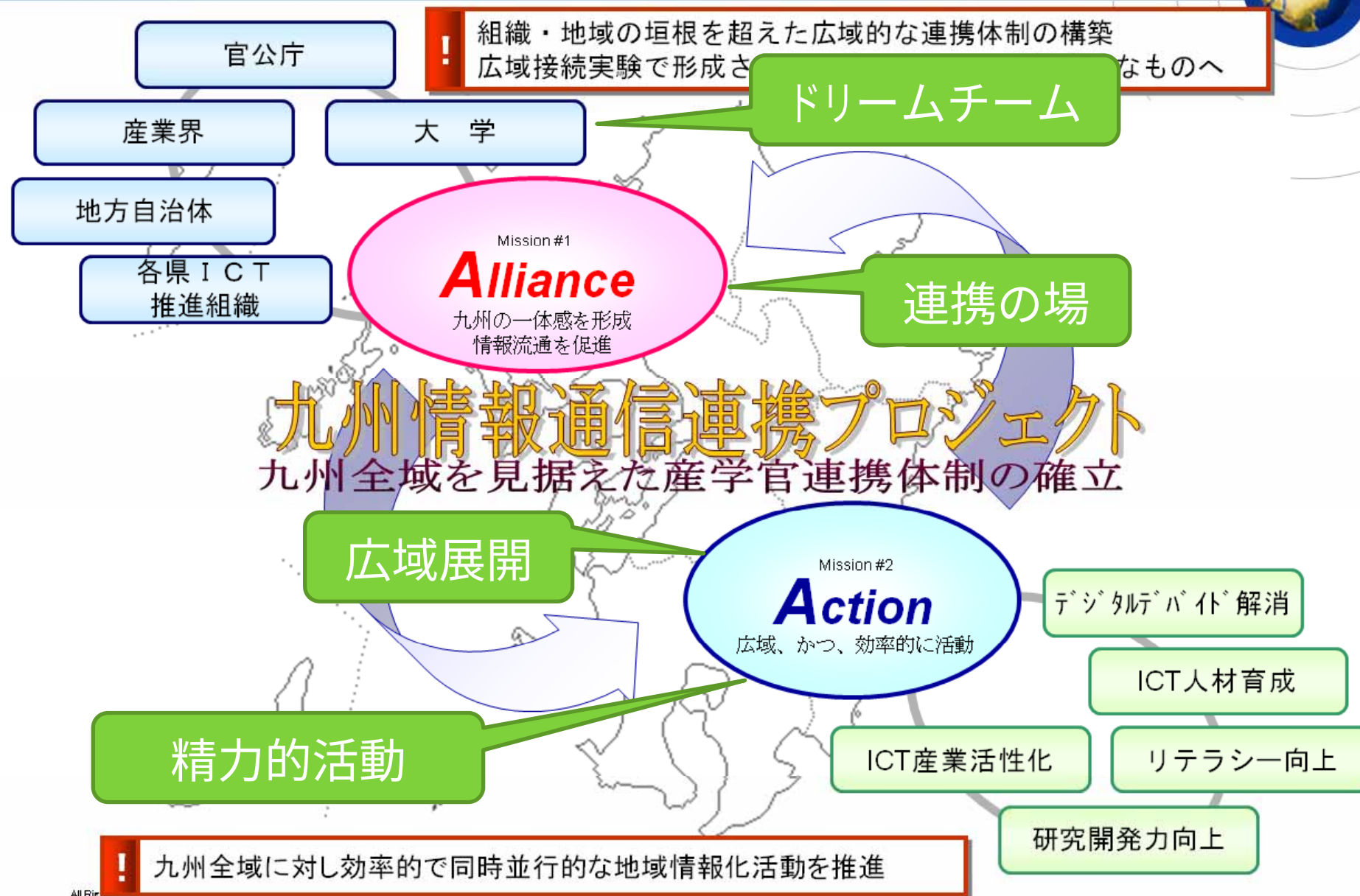
- × K I A I は、
- × 既に活動なさっている各組織、各地域の取り組みに屋上屋を架すのではなく、**連携の場**を提供しよう。
- × 組織＝人なので既に各地域でご活躍のキーマンの方をお願いしては、**九州ドリームチーム**を作ろう。
- × また、各地域の活動を九州全域又は、日本全域へ**広域展開**出来るよう**手伝**おう。
そのために、K I A I そのものが、**実際に手を動か**し、**精力的に活動**しよう。

K I A I 設立に向けご助言いただいた皆様

- × 九州総合通信局様
- × 九州経済連合会様
- × N T T 西日本様
- × K D D I 様
- × アボック様
- × マリンワールド海ノ中道様
- × 九州インターネットプロジェクト様
- × 次世代高度ネットワーク九州地区推進協議会
- × ネットコムさが様
- × ハイパーネットワーク社会研究所様
- × 九州テレコム振興センター様
- × 宮崎地域インターネット協議会様
- × 九州大学様
- × 佐賀大学様
- × 長崎大学様
- × 大分大学様
- × 熊本大学様
- × 宮崎大学様
- × 宮崎公立大学様
- × 鹿児島大学様
- × 情報通信研究機構様
- × 福岡県様
- × 佐賀県様
- × 長崎県様
- × 大分県様
- × 熊本県様
- × 宮崎県様
- × 鹿児島県様
- × 北九州市様
- × 福岡市様

ミッション

ようやくコンセプトがまとまり
平成19年6月22日に発起人会を開催



全国的に見ても誇れる活動（祝！新生KIAI）

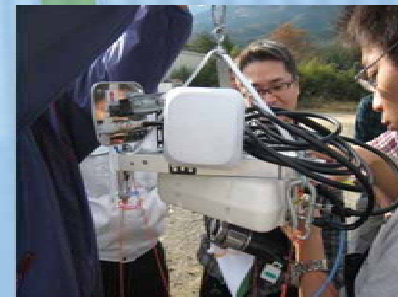
連携の場



広域展開



精力的な活動



内容

- × **K I A Iの夜明け**
- × **I C Tの今後の展望**
～I C Tは、社会インフラを支える社会インフラへ～

ICTインフラの位置付け

- ・インターネット等の利活用が進み、ICTインフラは他と並ぶ重要な社会インフラへ発展。

電力インフラ



水道インフラ



交通インフラ



ICTインフラ

電話

メール

WEB

TV会議

遠隔授業

遠隔医療

インターネット

今後は、社会インフラを支える社会インフラへ



SMART GRIDの視点からネットワークを考えると

- × SMART GRIDは、お客さまとの双方向通信を活用した次世代の電力網
- × SMART GRIDのための通信ネットワークの特性は、
 - + 地域一円にわたるネットワーク
 - + ギャランティードネットワーク
 - + 地域に閉じたネットワーク
- × この通信ネットワークは地域を支える社会通信インフラとしての可能性を持つのではないか？
- × 検討課題
 - + ビジョン
 - + ネットワークの共用技術
 - + ラストマイル通信方式
 - + 標準化
 - + 無線周波数割り当て 等

課題一例

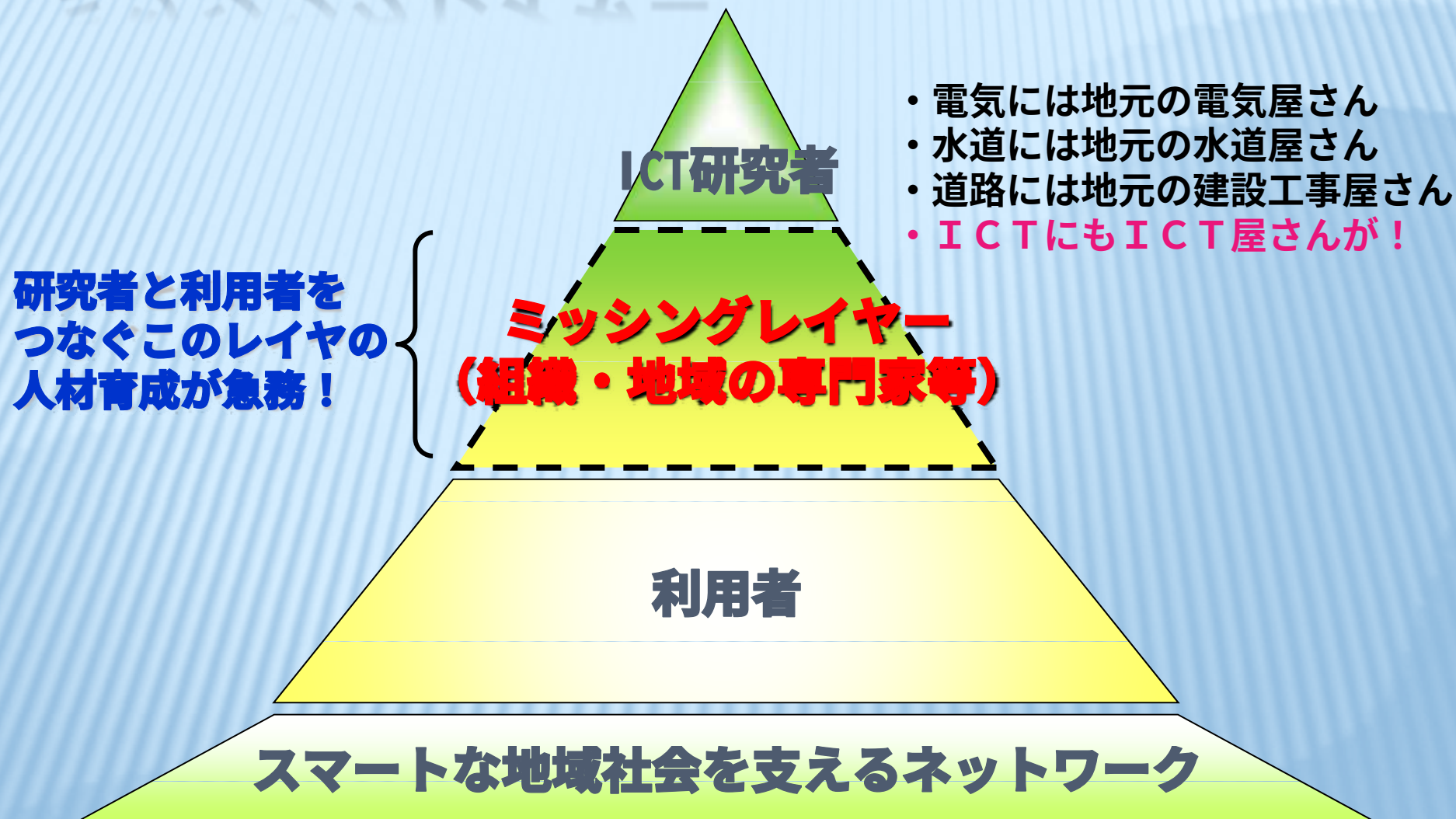
- × **スマートな地域社会を支える通信インフラは、地域一円にわたるICTシステム。**

+ 例) 九州には、約800万の電力メータがあり、スマートグリッド（スマートメータ）を実現するためには、お客さま宅との双方向通信環境が必要



- × **このICTシステムを、構築・保守するためには、地域の皆様の力が必要。**

ミッシングレイヤー



長岡技術科学大学山崎先生からご教授いただきました。

まとめ

- × **スマートな地域社会を支える通信ネットワークを是非実現したい。**
- × **ICTの重要性と裾野は、今後ますます拡大**
- × **将来のスマートな地域社会は、ICTにより実現。**
- × **その実現には、種々の技術開発や課題解決が必要。**
- × **皆様の知恵と力をお貸し下さい。**